



月刊

ポケットあわじ

ちょっとみせてね あのおうち

300年前の武家屋敷の歴史を伝える2階の門



元禄九年四月吉祥日と書かれている木札

阿波蜂須賀藩の家臣
稲田家 武術師範 藤井家

紫光学園

洲本市本町5丁目(旧下屋敷町)の洲本市中央公民館近くにある「紫光学園」、この建物はとても不思議で2階に立派な門があります。なぜ2階に門が？そこのところを所有者の藤井さんにお伺いしました。

“このあたりは、300年以上昔の元禄のころは、阿波蜂須賀藩の筆頭家老稲田家の家臣が多く住んでいた屋敷町だった。当初この屋敷に住んでいたのは曾我部家であったが、のちにその縁者である稲田家武術師範

の藤井家となった。明治3年に起こった庚午(こうご)事変により多くの屋敷が焼失したが、この屋敷は焼け残った。その建物も傷んできたため昭和60年に現在のように建て替えた。”ということです。

古い建物を解体した時に出てきた木札には「元禄9年4月吉祥日」(1696年)と書かれており、その年(317年前)に建てられたようです。建て替える時、少しでも当時の様子を残そうと、1階は鉄骨造、2階は木造という現在のような建物になったとのこと。

「鬼瓦」「16弁の菊のご紋の瓦」を使った門は二階に。立派な門は2階にあるため門としては使われていませんが、門の中には当時の瓦などが多く保存されており、藤井さんは先祖のものをできるだけ大切に後世に伝えたいと語っていました。また蜂須賀家と稲田家、曾我部家と藤井家のこと。庚午事変や北海道開拓、映画「北の零年」のことなど、ここにはとても書ききれませんが、いろいろと詳しく教えていただきました。

応援隊：田処 吉久

今月の特集

ちょっとみせてね あのおうち

- P.1 ・300年前の武家屋敷の門が2階にある紫光学園
- P.2 ・楓のある白い家 ・古民家カフェ
- P.3 ・茅葺き屋根の家 ・古民家イタリアン

もくじ

- P.4 ・TOTOシーウィンド淡路・淡路島地震緊急企画Ⅰ
- P.5 ・国生みの館(イングランドの丘)
・淡路島地震緊急企画Ⅱ
- P.6 淡路文化会館・淡路消費生活センターからのお知らせ
- P.7.8 淡路の文化活動・イベント情報

I邸

楓のある白い家



淡路市旧一宮町の山奥に、周辺道路からも建物の様子は全く感じられないロケーションの中にIさんのお宅があります。一見モダンなデザインの別荘…のように見えるのですが、実は築後約40年も経つそうで、新築当時は建築専門誌の誌面を飾った建物だそうです。

シンプルに積み木を並べたり重ねただけのように見える外観デザインとモダン和風なインテリアは、今の時代に建ててもカッコ良く、古さを全く感じさせないデザインです。敷地の形状や高低差、周辺道路からの視線と

いった設計上の制約が一切ない状況の中で、設計者はこの敷地に昔から立っている一本の「楓」をキーワードとして、あえて楓を生活の中心に残すことで、建主が持っているこの場所の記憶や愛着を守りながら、当時としては斬新なデザインに挑戦したように感じました。

実は小学生の頃に一度だけ行ったことがあったのですが、その特徴的な中庭を囲むプランと建物のシルエットは子どもごころに相当印象深かったようで、当時の記憶そのままでした。応援隊：田村 ひろ子・栄 宏之



古民家 カフェ ふくカフェ

南あわじ市倭文長田224
0799-53-6170
営業時間10:00~18:00
定休日 木曜日・第2第4金曜日

ほっこりふっくら ふくろうがおでむかえ



洲本市と南あわじ市を結ぶ県道125号線この道を進んでいると、右も左も山の緑に囲まれた道端にふっくらまるい体にくりくり目玉のふくろうがお出迎え(看板)。この道路からは見えないのですが、少し山側に入ったところの池のほとりに「隠れ家的古民家カフェ・ふくカフェ」が2011年12月にオープンしたと聞いていました。ちょっと気になるこの「隠れ家的古民家カフェ」の、探検開始。平日の午後だというのに駐車場は車でいっぱい。「隠れ家」というだけあって駐車場からはカフェらしい建物は見えません。ふくろうの案内(看板)に従って山道を歩くこと1分。目指すカフェ発見。引き戸を開けるとそこはかつての農家の土間。むき出しの土壁と大きな梁。小さな明り取りの窓。なんとなく記憶に残っているようなこのレトロな空間に次々にお客さんが訪れ、ここで席が空くの待ちます。小さな子供連れの人、若い男女、旅行中の人と様々です。待つこと1時間。オーナーの話を聞きました。オーナーは榎本善嗣さん(38才・大阪出身)。元ホテルのフロントマンだった榎本さんは、コーヒーが大好きで、みんなが縁側でゆっくりコーヒーを飲めるような場所をつくりたいという夢がありました。そこで古民家と出

有名な庭師が住んでいた旧家



会い、隠れ家的古民家カフェが誕生しました。築106年の旧緑町倭文の古民家は、有名な庭師の住んでいた旧家です。榎本さんにとっては初めて見るような農具、部屋の造り。もとは牛舎であり、納屋だったところの天井をはずし、土壁を壊し、約半年かけてカフェに改装しました。自慢は徳島在住のスペシャルティコーヒーを鑑定できる焙煎士に焙煎してもらった豆を、自ら汲んできた先山の湧水で入れたコーヒー。オリジナルブレンドの粉で焼いたワッフルや日替わりスイーツ。東京でしか売られてなかった淡路島カレーがここで食べられるという事です。現在カフェとして使っている敷地はごく一部で、将来はみんなが庭の切り株に座ってコーヒーが飲めるようなそんなコーナーもつくりたいと、夢もひろがります。有名な庭師が住んでいた旧家というだけあって、今でも珍しい木々も庭のあちこちで見られます。庭の木々を眺めながらおいしいコーヒーを飲んで100年前にタ～イムスリッ！ 応援隊：村上紀代美・坂本厚子

せやどん
庄屋敷



茅葺き屋根の家

東浦インターチェンジを降り、正面の浦川を上ると盆地状の所に小さな峠があります。そこを入ると、せやどん（庄屋敷）正井家の茅葺きのお屋敷があります。

今から約六百五十年前に肥後の国 菊池則隆の子孫が居を構えたのが始まりで、お屋敷の周りには川の蛇行を利用して、四方を守り、外の土塀と山で二重の守り、地をいかした設計になっています。

普請は、チョンナ（手斧）作りといつて、カンナなど一切使わない古い時代の建物です。現存する建物としては、淡路島



火縄銃

で最も古く、古文書も数えきれないほど保存されています。

玄関の広間には火縄銃が掛けてあり、天保ごろの景観を示す屋敷構は、庄屋の偉容を今に伝えています。

応援隊 竹原 祐乗

古民家 イタリアン

ラカーサ ヴェッキア
クッチーナ・テリトリオ

淡路市釜口1225

TEL・FAX 0799-74-6441

(予約をおすすめします)

営業時間: ランチ11:30~14:30

ディナー 18:00~22:00

意味は...古い家 愛すべき郷土の料理

定休日: 火曜日・水曜日ランチ・月1回不定休



LA CASA VECCHIA
CUCINA TERRITORIO

...淡路島のイタリア料理...

国道28号線 JA釜口から山の斜面を上がって古民家イタリアンのお店に行ってきました。山の斜面には、農家、小さな棚田、畑・・・山村風景が広がっていました。

店内の大きな格子窓から見える青い海、青い空、草の緑がとてもステキ!天井は高く大きな建物を支える柱とハリが匠の技を感じさせます。



古民家再生の魅力は何ですか?

築80年の古民家から見える瓦屋根や海の景色・・・何もなく派手さはないが、その「何もない」良さを感じてほしいです。



メニューは?

島外の方には淡路島の魅力を! 島内の人には淡路島の魅力を! 再発見してほしいです。

二十四節気の料理が味わえます。(昼夜ともに3000円のコース一本)



飯屋漁港桜鯛のカルパッチョ

人参のスープ

ヒイカのトルツェッティ

潤喉牛その日の部位と季節野菜のグリリアータ

筍のリゾット

苺のムース

写真は5月5日~20日までの「立夏」です。メダル型のパスタを初めていただきました。イチゴのムースがとてもおいしかったです。季節ごとの野菜やフルーツを使ったスイーツと淡路島魅力いっぱいの素敵なランチタイムご馳走様でした。 応援隊: 藤本 法美・池田 けい





知る人ぞ知る崖の上の安藤建築
TOTO シーウィンド淡路

大阪湾につきでているラウンジ部分

TOTOの保養所を一般にも開放している宿泊施設

コンクリート打ちっばなし × 自然



アート感あふれるフロント



窓一面に広がる海と空がお出迎え

安藤建築に魅せられた人であれば誰でも気になるあの建物、TOTOシーウィンド淡路を紹介します。ここは、本来保養所として建てられたのを一般にも開放している宿泊施設です。

景観も建築の一部と考える安藤氏自らが、島内を歩き回り選んだこの場所の魅力の一つは山中特有の「霧」。雷雨の日には「霧」が山中を覆い隠し雲中にある感覚を楽しめるそうです。大阪湾に面した約45度の急傾斜100m

淡路市里海平573-14 (津名-宮ICより車で15分) Tel 0799-62-7105
の高低差に建てられたこの建物は8階建て。すべての部屋がオーシャンビューで、建築の随所に自然との接点を持てるように設計されています。その建物内に一步入ると洗練された空間にまず絶句。ここからは海と山と安藤建築、それ以外の日常的なものが一切見えないので、そこにいるだけで高級リゾート地に来たような錯覚におそわれます。4階ダイニングテラスから見える大阪湾の大パノラマと海岸線の曲線美。この場所から見る景色は、今まで見たことのない美しい淡路ばかりなのです。お部屋のトイレやお風呂はもちろんTOTO製。こちらの

宿泊施設で実際に使ってみて、その良さを体感できるそうです。世界的建築家 安藤忠雄氏が惚れこんだという景色を眺め、淡路の食材たっぷりのコース料理をいただき、島内にいながら日常とかけはなれた時間を堪能できる場所。いい意味で淡路らしくないここでのんびりと贅沢な休日を過ごせたら最高に幸せだろうな・・と思える建物でした。

応援隊:川原 雅代
宿泊がメインの施設です。食事のみの利用は要相談。詳しくはHPをチェック!



TOTO製トイレ

淡路の食材からできた美しいお料理



地魚のおつくり・鯖のアクアパッツァ・さざえの和風ブルギニョンなど・・・地元の旬の食材を一番美味しく味わえるように考えられたお料理は、島外から来たお客様に大好評。味はもちろん、盛り付けが美しく思わず写ってしまいたくなる一品ばかり。 ※写真はイメージです



地魚のおつくり

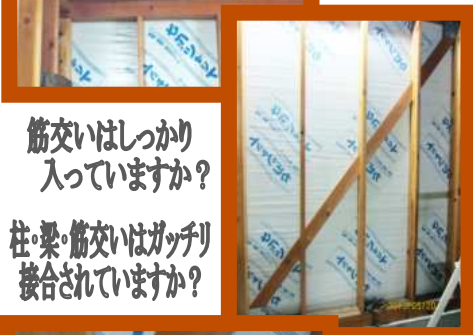
あなたのお宅の耐震チェック!

軽い材料の屋根に替えることで、耐震性を向上!

淡路島地震緊急企画 I 地震対策教えます。



梁と梁の間に火打ちを入れるのも効果的

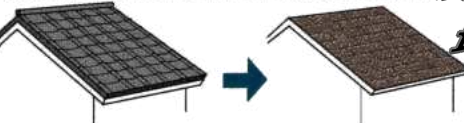


筋交いはしっかり入っていますか?

柱・梁・筋交いはガッチリ接合されていますか?

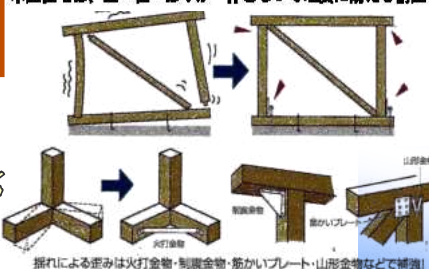


接合部に補強金物はついていますか?

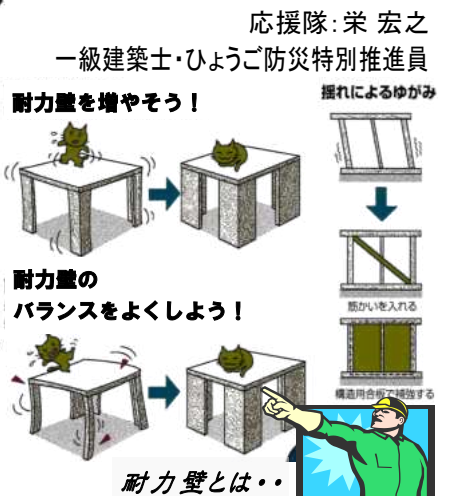


三大耐震改修工事
屋根の軽量化
壁の補強
接合部の補強

木造住宅は、壁・柱・はりが一体となって地震に耐える構造です



揺れによる歪みは火打ち金物・制震金物・筋かいプレート・山形金物などで補強!



耐力壁を増やそう!

耐力壁のバランスをよくしよう!

耐力壁とは・・・

筋交いや構造合板などで補強された壁で地震の揺れから家を守ってくれる壁のことです。

応援隊: 栄 宏之
一級建築士・ひょうご防災特別推進員



明治17年に建てられた洋館
旧三原郡役所
国生みの館
イングランドの丘



歴史を感じる重厚な室内

南あわじ市のファームパーク イングランドの丘エリアに入っすぐ右側に国生みの館があります。取材に行った5月始めは、

白い木造の洋館が後ろの山の新緑とバラの花壇の花の色に映えてとてもきれいでした。事務局長の田村 覚さんにお話と案内をしていただきました。この建物は明治17年に旧三原郡三原町市に郡役所として建設されました。洋風を模したもので県内に現存する最古のもので、県内の郡役所の原型となりました。また淡路島における最古の明治洋風建築で淡路地区の官公庁舎の歴史上でも重要な建

物です。郡制廃止後も県の出先機関の事務所、町村会事務所などに使用されてきました。平成7年の阪神・淡路大震災により被災し、一時は取り壊しが決定していましたが、建築家や設計士、住民等から保存要望があり、解体・保存していたものを、平成18年度に淡路地域の情報発信拠点施設として、イングランドの丘に復元されました。1階展示室には淡路の魅力や国生み神話を音声案内付きの

地図模型やミニチュアの立体模型などでわかりやすく紹介しています。私が驚いたのは付属棟と本館二階の天井の茶色の梁と柱、漆喰の白、とても重厚できれいで、まるで教会のようでした。またコアラの赤ちゃんが今かわいい盛りです。11時40分頃コアラ舎へ行くとお母さんに抱かれながらユーカリの葉に手を伸ばす赤ちゃんの姿を見ることができました。

応援隊：坂本 厚子

淡路島地震緊急企画 Ⅱ ～お宅の地震対策教えます～



去る4月13日の淡路島付近を震源とする地震の際には、ビックリされた方も多いのではないのでしょうか。被害を受けられた方には心からお見舞い申し上げます…。とはいっても南海地震の危険性は無くなっていないので、今回は住宅の地震対策についてまとめてみます。

まず、もっとも簡単に出来る地震対策は、家具の向きや配置の見直しです。そして、家具類に関しては、食器棚の扉に耐震ラッチを取付けたり、家具を固定しておくことで、停電になったとしても安全な避難路を確保出来ます。

住宅の耐震化に関しては、まずご自宅の現在の耐震性を把握することが大切です。建物の耐震性に関する基準は昭和56年(1981)に大きく見直されました。つまり、旧耐震基準で建てられている昭和56年以前の建物については、耐震性が不足している可能性が高い…ということになり、補強工事の検討が必要となってくる場合もあります。やはり専門家の目で見てもらう方が安心ですが、耐震化のポイントは以下の通りです。

ポイント

- 耐震壁が足りているか？
- 耐震壁がバランス良く配置されているか？
- 柱・梁・筋交いはしっかり接合しているか？

もし、ご自宅の耐震性に不安がある場合は、ぜひ「簡易耐震診断」を受けることをお勧めします。市役所の窓口へ申し込めば、兵庫県に登録している簡易耐震診断員(指名も出来ます)がご自宅の状況を現地で調査を行い、耐震性の評価や改善ポイントのアドバイスを受けることが出来ます。(木造の戸建住宅の場合で3,000円の費用負担は必要)

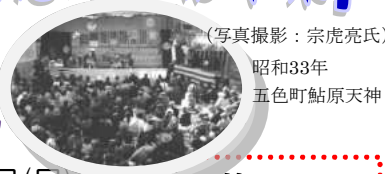
また、簡易耐震診断の結果で耐震性が不足する場合は、より詳しく診断し補強方法を検討することや、耐震化工事を行うことが必要になりますが、それぞれに活用できる助成金制度もありますので、上手に活用すると費用的な負担を軽くしながら住宅の耐震化を進めることが出来ます。

最後に、「無料で耐震診断できる…」などとお宅を訪問・点検し、「金物が不足していて危険な状態…」などと不安をあおり、高額な改修費用を請求するといった悪質な訪問販売の事例もありますので、知り合いの工務店や建築士など安心して頼める専門家に相談されることをお勧めします。応援隊：栄 宏之 一級建築士・ひょうご防災特別推進員

★淡路文化会館からのお知らせ★

「淡路人形浄瑠璃魅力発信事業」

野掛什公演 (全3回) あわじ元気



(写真撮影：宗虎亮氏) 昭和33年 五色町鮎原神

第1回

日時 平成25年6月2日(日) 13:00~15:00
場所 淡路SA下り 観覧車横広場
問合せ先 淡路文化会館
TEL 0799-85-1391

第2回

9/22 (日) 淡路ハイウェイオアシス

第3回

10/6 (日) 淡路文化会館

※詳しくは淡路文化会館ホームページをご覧ください。

「人形芝居」と「だんじり唄」の公演が、無料でご覧いただけます。

淡路文化会館生活創造情報プラザ
グループ登録募集

※グループ登録すれば、淡路文化会館の一部スペースが無料で使えます。

登録できるグループ

- ・淡路地区に活動拠点があること
- ・地域文化、子育て、健康福祉、緑化等生活創造活動を行っていること

※営利目的、政治・宗教目的の活動などには利用できません。

★兵庫県淡路消費生活センターからのお知らせ★

私たちがくらしの安全・安心推進員です！！

- 主な活動は
- ★簡単な消費生活相談への対応
 - ★悪質商法から住民を守る活動
 - ★出前講座の講師・アシスタントなどです。

お気軽にご相談ください



淡路市

- 【津名】伊藤 良子 城越 恵美子 西谷 洋子
 【岩屋】高橋 照代 西山 満利子 原口 加代子 平田 英子
 【北淡】國本 桂子 小山 しおみ 高田 佳世子 中筋 みち子
 【一宮】河野 さかゑ 瀬川 久美子 藪田 純子
 【東浦】小田 美根子 西村 邦枝 幡井 政子 浜 益栄 船本 君子

洲本市

- 【洲本】青海 妹子 大畑 悦子 尾崎 雪子
 壽圓 久範 曾根 真由美 武田 喜代佳
 武田 新子 武田 美智子 西村 久留美
 野口 純子 春芳 敬一 松下 晃衣
 柳 明子
 【五色】木元 寿夫 坊田 かつゑ 山崎 和子

南あわじ市

- 【緑】岩本 逸雄 平池 啓子
 【西淡】菅 道子 西島 敏子
 【三原】入口 清弘 北条 志津子
 三好 州宏
 【南淡】阿部 文恵 松崎 えみ子

兵庫県淡路消費生活センター 商品や契約についてお気軽にご相談ください。

◇消費生活相談・多重債務相談 電話0799-23-0993

9:00~12:00 13:00~16:30 (土日祝日・年末年始は除く) (電話受付)



イベント・インフォメーション

所	イベント	日時・会場	料金・問合せ先
淡路島 国営明石海峡公園 〒656-2307 淡路市南鶴崎8-10 TEL 0799-72-2000 FAX 0799-72-2100	淡路島国営明石海峡公園 季節のクラフトあそび 「押し花・ラベンダー クラフト」	6/22(土), 23(日), 29(土), 30(日) 10:00~17:00 (受付は16:30まで) ※ビジター棟1階	押し花はがき200円 押し花しおり200円 ラベンダー香り袋100円 ※別途入園料、駐車料金必要
	淡路島国営明石海峡公園 吹き戻しを作って遊ぼう!	6/29(土), 30(日) ①11:00~12:00 ②13:00~16:00	300円(作成2本、完成品1本) ※別途入園料、駐車料金必要
兵庫県立 淡路夢舞台温室 「奇跡の星の植物館」 〒656-2306 淡路市夢舞台4 TEL 0799-74-1200 FAX 0799-74-1201 10:00~18:00 (最終入館17:30)	バラのプリザーブドフラワー 教室	~7/7(日)	材料費2000円~ ※要予約 (希望日1週間前までに問い合わせ) ※別途入館料必要
	ウエディングガーデンショー —花嫁に贈る白い庭—	6/1(土)~7/7(日)	入館料 大人600円、 65歳以上300円、 高校生300円、 中学生以下無料
洲本市文化体育館 〒656-0021 洲本市塩屋1-1-17 TEL 0799-25-3321 FAX 0799-25-3325	洲本高校 ミュージックダンス部 ラストライブ	6/23(日) 14:00~15:30 文化ホール「しばえもん座」	入場無料 【問】0799-22-1550 (福島)
	ひょうごオペラプロジェクト オペラ「セビリヤの理髪師」 名場面セレクション	6/29(土) 18:00~20:00 文化ホール「しばえもん座」	500円(全席指定) ※未就学児入場不可 【問】洲本市文化体育館
	平成25年度 第1回淡路島くにうみ講座 清川あさみトークライブ	6/30(日) 14:00~15:30 文化ホール「しばえもん座」	無料 ※要申込(〆切6/21) 【問】0799-24-2001 (淡路島くにうみ協会)
洲本市 市民交流センター 〒656-0054 洲本市宇原1788-1 TEL 0799-24-4450 FAX 0799-24-4452	環境ポスターコンテスト	応募:~6/30(日) 展示:8/6(火)~31(土) ロビー	無料 【問】市民交流センター
	市民交流センター開館35周年 記念特別ピアノコンサート	6/15(土) 15:00~ ビバホール	入場料500円 ※入場は小学生以上

第8回淡路市こどもすいじょう運動会	受付期間:6/8(土)~28(金) 開催日:7/7(日)9:00~12:00 場 所:淡路市立津名第二温水プール 【問】0799-64-2269(津名温水プール)
淡路人形座6月公演 6月はおとうちゃん感謝月間 (6月の土・日はお父ちゃんが無料)	【通常公演】6/2(日)~15(土) 10:00,11:00「東海道中膝栗毛 赤坂並木の段」 13:00,14:00,15:00「傾城阿波の鳴門 巡礼歌の段」 【特別公演】6/15(土)17:00「絵本太功記 尼ヶ崎の段」 ※毎週水曜日休館

ギャラリー・インフォメーション

所	イベント	日時・会場	料金等
淡路文化会館 〒656-1521 淡路市多賀600 TEL 0799-85-1391 FAX 0799-85-0400	2013年写淡四季写真展	～6/6 (木) 9:00～17:00 ※展示室	鑑賞無料
	夢に向かってほっこり生きよう 三界展	～6/6 (木) 9:00～17:00 ※県民ギャラリー	
	堀田三重子作品展	6/8 (土)～20 (木) 9:00～17:00 ※展示室	
	アワジネイチャーフォトクラブ 写真展	6/8 (土)～20 (木) 9:00～17:00 ※展示ギャラリー	
	久保田一義写真展	6/22 (土)～7/7 (日) 9:00～17:00 最終日は16:00まで ※展示室	
南あわじ市 滝川記念美術館 玉青館 〒656-0314 南あわじ市松帆西路1137-1 TEL 0799-36-2314 FAX 0799-36-5408	平成25年度館蔵品展1 ※期間中一部入替有り	～6/16 (日) 9:00～17:00 入館は16:30まで 月曜休館	大人300円 高大生200円 小中生100円 ※小中生は「ココロンカード」「のびのびパスポート」利用可 【問】0799-36-2314 (玉青館)
	平成25年度館蔵品展2	6/20 (木)～ 9:00～17:00 入館は16:30まで 月曜休館	

こころ豊かな人づくり 500人委員募集!

「こころ豊かな美しい兵庫」の実現に向け、セミナーやワークショップ、実践交流活動などを通して、青少年育成活動や地域づくり活動へ積極的に参画する地域の担い手を養成します。

- 募集対象・・・青少年育成や地域づくり活動に意欲を持つ、県内に在住・在勤・在学の概ね20歳以上の方
- 受講料・・・無料（食費、交通費等実費負担が必要な場合あり）
- 応募方法・・・所定の応募申込書を、下記あて平成25年6月21日までに提出
- 問合せ・申込先・・・淡路青少年本部（淡路県民局内） 〒656-0021 洲本市塩屋2丁目4番5号



TEL:0799-26-2048 FAX:0799-26-3090

編集だより

今月号はいかがでしたか!?

淡路島といえばシラスを使ったしらす丼が名物の一つです。島の生しらすも解禁され、ゴールデンウィーク期間にはお店に長い行列が…。これからの時季がまさに旬!とろ～りとろけるツルツル新食感☆生しらす!!今年は37店舗にグレードアップ。淡路島の食堂や料理屋では、どこもしらす丼の看板を掲げて、いたるところで淡路島名物しらす丼を大々的にアピールしています。



せっかく淡路島へ訪れたのなら、是非、淡路島名物のしらす丼を食べてみたいものですね? シンプルなレシピだからこそ、素材の味が大事ですね。

応援隊: 竹代 結

「ポケットあわじ」は、毎月3,000部発行し、応援隊の手により、島内各市の庁舎・公民館・商業施設など約240カ所に無料配布しています。淡路文化会館のホームページでご覧になると、カラー版でお楽しみいただけます。読者の皆さまからのご便り、情報をお待ちしています。

(発行) 淡路生活創造応援隊
淡路文化会館

〒656-1521 淡路市多賀600

TEL 0799-85-1391

E-mail a-pocket@hyogo-ikigai.jp

